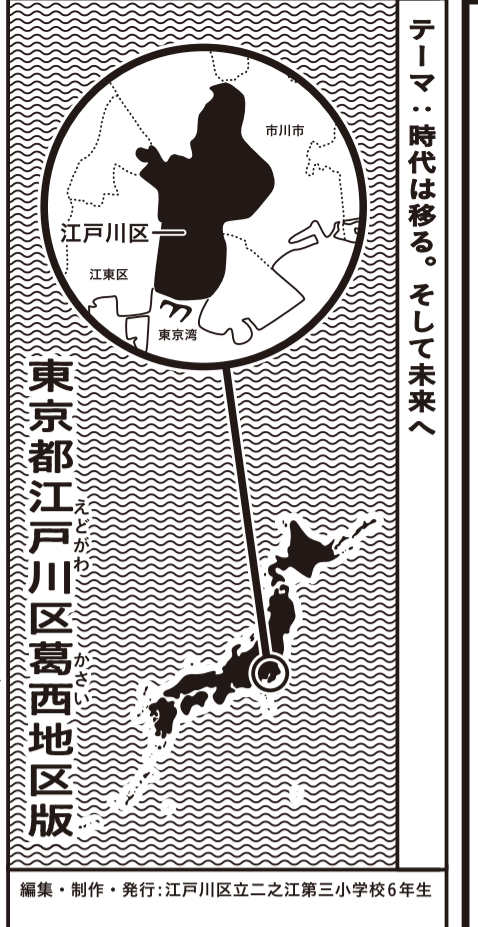
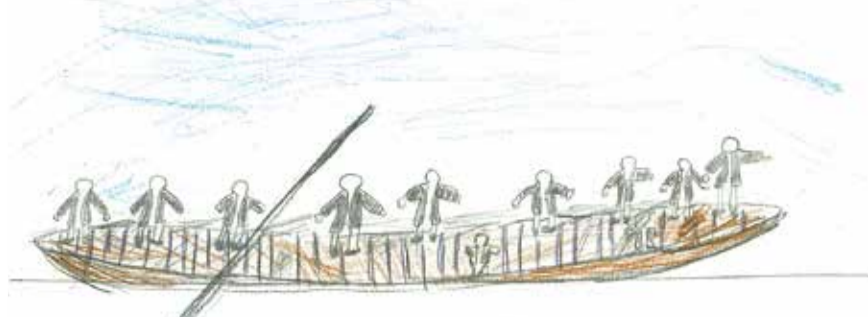


# うみやまかわ新聞



東京都江戸川区葛西地区版

## 葛西地区に流れる新川



新川の歴史について、詳しく教えてくださった新川葛西史談会の西野さん。

取材協力 西野啓造(にしの・てつぞう)さん 1950年(昭和25年)2月7日生まれ(65才)、新川葛西史談会・会長。

「新川」は、江戸川区葛西地区を東西に流れる川です。新川葛西史談会・会長の西野啓造さんによると、名前の由来は「新しく作った川」という意味だそう。行徳(今の千葉市川市)から江戸城まで、塩年間約216キロリットルを運ぶために徳川家康が作らせた川です。

## 新川の新しい名所!! 新川千本桜



「新川千本桜計画」は、江戸川区民の桜を植えてほしいという意見により、2007年(平成19年)4月から始まり、江戸川区土木部街路橋梁課設計係の大竹さんと書柳さんによると、新川周辺にはソメイヨシノをはじめ、全部で20種類・716本の桜があるそうです。

## 小松菜の歴史



右:高橋さんの畑で育った小松菜 左:小松菜の茎部分は黄緑色で、根は白い色をしています。

中国から伝わった小松菜は、「冬菜」「葛西菜」と呼ばれていましたが、江戸時代、江戸時が東・西小松菜を食べ、その川村あたりでとれる冬菜を食べ、そのおいしさにおどろき、村の名前をとって「小松菜」と名付けたそうです。

## 小松菜の生産

小松菜栽培はビニールハウスと路地栽培があり、ビニールハウスでは年に6、7回収れができて、虫がつかない。路地栽培は、年に4、5回の収穫ですが、おいしく育てるコツは、ただ、虫がつくので、最初だけネットをかけて栽培します。

取材協力 大竹剛之(おおたけ・のりゆき)さん 1965年(昭和40年)8月3日生まれ(50才)、江戸川区土木部街路橋梁課設計係・総括係長。



新川千本桜計画

取材協力 青柳明(あおやぎ・あきら)さん 1975年(昭和50年)9月25日生まれ(40才)、江戸川区土木部街路橋梁課設計係・主査。

井上眞(いのうえ・まこと)さん 1949年(昭和24年)6月6日生まれ(66才)、新川げんき会・副代表、企画広報。

矢島芳男(やじま・よしお)さん 1932年(昭和7年)1月18日生まれ(84才)、新川げんき会・代表。



今取材させていただいた高橋さん。

江戸川区には野菜の自動販売機が5カ所あり、小松菜も販売されています。とても身近な野菜で、江戸川区の家庭ではお雑煮に必ず小松菜を入れます。高橋さんのお話を聞いて、何気なく食べている小松菜におく深い歴史があったんだと感心しました。

菜を20束入れるように、決められています。江戸川区には「こまなつくん」というキャラクターがいたり、小松菜のお手軽レシピなどを紹介する「小松菜力」という雑誌が配布されています。



「こまつなくん」



上:小松菜の種と種まき機 下:とれたての小松菜に、江戸川区特製のビニールテープを巻きます。

## 安心できる堤防

江戸川区の「スーパー堤防」はとても優れた堤防です。江戸川区土木部区画整理課調整係・調整係長の関野雅之さんによると「スーパー」とは「高規格」という意味だそう。江戸川区は水害が多く、1949年のキティ台風では、A.P.(※1)13.15メートルまで水がきました。そのため堤防の決壊などにつながるための計画が立てられたそうです。



写真1:キティ台風の時黄色の線まで水がきました。

※1:A.P.(Arakawa Peil:アラカワペイルの略)とは、隅田川河口近くにあった豊島島の量水標(川の水位を測るもの)の零位を基準とした水位表記。A.P.±0は、だいたい大潮の干潮のときの水位を表します

取材協力 関野雅之(せきの・まさゆき)さん 1973年(昭和48年)3月8日生まれ(42才)、江戸川区土木部区画整理課。

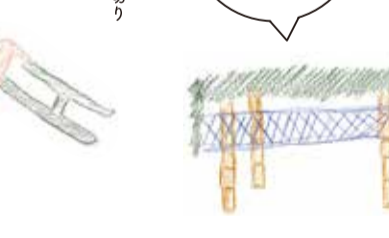
村上聡(むらかみ・さとし)さん 1974年(昭和49年)7月28日生まれ(41才)、江戸川区土木部区画整理課。

山下陽啓(やました・やすひろ)さん 1981年(昭和56年)2月4日生まれ(35才)、江戸川区土木部区画整理課。

倉持竜海(くらもち・たつみ)さん 1992年(平成4年)8月27日生まれ(23才)、江戸川区土木部区画整理課。

## 昔の伝統、のり作り

1624年(寛永元年)から1962年(昭和37年)まで、江戸川区の葛西浦現在の東京湾(※)ではのり作りが行われていました。「長島海苔産地会」の会長・関口政永さんによると、昔は手作業が「べか船」という船でのり採りをしていました。冷たい海水に手を入れてのりを採り、飛行機のような包丁で切り刻み、形を整え、天日でかんそうさせます。

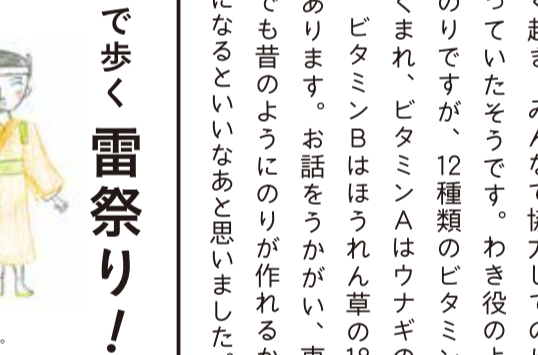


① 養殖したのり ② 飛行機のような包丁で切り ③ 形をととのえ ④ かんそうさせて完成

## 女装で歩く雷祭り!



お話を伺った遊佐さん



雷祭りは、毎年2月の第4日曜日に男の人が女装をして家々をまわり、無病息災を祈る祭りです。江戸時代に流行したコレラという病気を防ぐために、おぼろさんがお経を唱えて家々をまわったことから始まり、妹の着物を着て、病気が治るようにと、祭りに出たのがきっかけと言われています。女装する祭りはめずらしいと思います!

取材協力 関口政永(せきぐち・まさなが)さん 1939年(昭和14年)7月15日生まれ(76才)、長島海苔産地会・会長。

## 金魚について

金魚の三大産地の一つ、江戸川区には1923年(大正12年)の関東大震災後、水もちがよく、川も多く、金魚生産に適していたため、金魚生産業者が集まりました。その後、住宅がたくさんでき、川が減り、今では金魚養魚場は2軒しかありません。しかし、金魚生産の歴史を今に伝えるために、金魚祭りが行われています。



アママ



樹齢500年のけやきの木

二之江神社は1967年(昭和42年)に香取神社と八幡様の神社が合祀(ごうじ)された。全国的にまつられている香取様や八幡様、水神様など、さまざまな神様がまつられています。他にも、樹齢500年のけやきの木もあり。昔は5本くらいあったけれども、道路を作るときに切られたりしてしまっただけです。近くに住む人や通りがかりの人たちが、木のかげにきて休んだりするそうです。

## 葛西臨海公園・水族園



トビハゼ

葛西臨海公園の干潟では、カワウ、ウミネコ、コアジサシ、アオサギ、ダイサギ、スズガモなど、たくさんの野鳥を見ることが出来ます。そんな公園内にある水族園について、葛西臨海水族園教育普及係・係長の天野未知(あまの・みち)さんに取材しました。水族園では、東京の海に力を入れているそうです。アマモの飼育やトビハゼの繁殖にも成功。飼育しながら繁殖させる取り組みをしています。アカハライモリや東京メダカなどの研究も行っています。

取材協力 天野未知(あまの・みち)さん 1966年(昭和41年)12月12日生まれ(49才)、葛西臨海水族園教育普及係・係長。



堀口養魚場



堀口養魚場

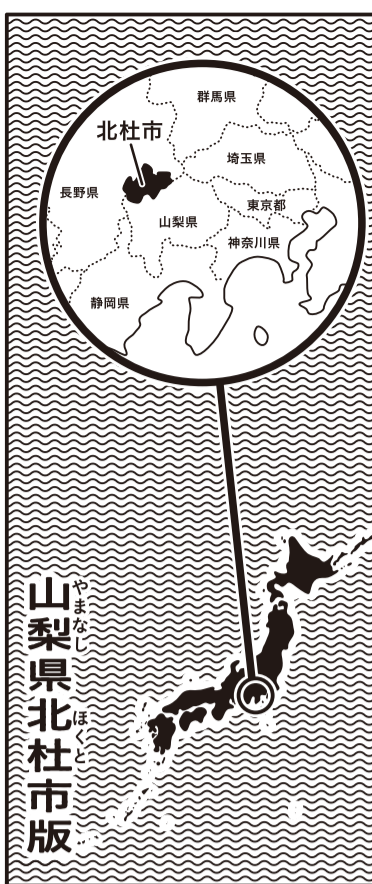
① 金魚の種類を分別したりします。② 江戸川区で2軒しかない養魚場のうちの1軒。③ ④ 金魚を販売しています。高規格の1匹1万円、2000円のものもあるそうです。⑤ ⑥ さんごの金魚が販売されています。

取材協力 堀口英明(ほりぐち・ひであき)さん 1951年(昭和26年)4月12日生まれ(64才)、東京都淡水魚養殖業協同組合・組合長。



# うみやまかわ新聞

テーマ：北杜市の自然



山梨県北杜市版

編集・制作・発行：北杜市立高根西小学校5年生

## 国ちよう オオムラサキの住む里

むらさき色の美しい羽を持つオオムラサキは勇ましく、スズメバチを追いかけられるほどです。成虫になるまで約10か月かかり、じゆう命は約2週間。カマキリやくモ、ハチなどが天敵です。主に樹液を吸いますが、オオムラサキセンターのスタッフ・瀧美友里子さんによると、トンなども好物だそうです。



＜オオムラサキのデータ＞  
オオムラサキは、日本の国ちよう、タテハチョウ科で体長45～60ミリメートル。北海道西部～九州で見ることができます。成虫の活動期は6月～8月です。  
(写真：北杜市オオムラサキセンター)

## ヤマネのひみつ



写真：瀧秋作 (shusaku minato)

ヤマネ(ニホンヤマネ)は、体長6.1～8.4センチメートル、体重20～30グラムと小さく、ふさふさのしっぽで、背中に黒い筋があるげつ歯類です。夜行性で、屋間は木の穴の中でねむっています。1975年(昭和50年)に国の天然記念物に指定されました。冬みんのときに、体温を0度近くまで下げられるので、「コオリネズミ」とも呼ばれます。まん丸くなって冬みんする姿はとてもかわいいです。

北杜市高根町清里にある、やまねミュージアムでは、ヤマネがどこに住み、どんな動物か、食べるもの、体の持ちようまで、いろいろなことが学べます。他にも、ヤマネの標本や骨、糞などの実物が観察できたり、冬には冬みん中のヤマネに会えたりします。子ども向け(親も参加)の「やまね学校」も開かれ、ヤマネのことをくわしく勉強できるようになっています。

参考 「ジュニア学研の図鑑 動物」(発行：学研教育出版/発行人：千代延勝利/編集人：伊藤哲朗) 「やまねミュージアムパンフレット」(発行：公益財団法人キープ協会) 「ヤマネって知ってる? ヤマネおもしろ観察記」(著者：瀧秋作)



取材協力 瀧美友里子さん(ゆりこさん) 1989年平成元年1月28日生まれ(26才) 特定非営利活動法人「自然とオオムラサキ」親しみ会 会長



参考 「小学館の図鑑N5 昆虫」(発行：小学館)

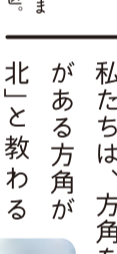
昔は、人間が森を管理していました。今は森づくりだけでは仕事にならず、森を管理しなくなったそうです。全くの自然の状態の森だと、オオムラサキは住みにくいです。ちよと人が手を加えることで、森にオオムラサキの住みやすいかん境ができます。その他の生き物も集まってくる。なので、オオムラサキセンターでは森の下草をかったり、植林したり、里山林を作る活動を行っているそうです。



みなさんは、ゆう水って知っていますか？ 地下水が地表へ自然に出てきた「消毒などいろいろな薬品を使う必要がなく、流れているその場所ので飲めるほどきれいな水」です。使わなければ川に流れて海に行き、水蒸気になって雨として山に降り注ぎ、また地中にしみこみ、再びゆう水になります。



参考 「牧野新日本植物図鑑」(発行：北隆館/著者：牧野富太郎)



取材協力(吐竜の滝について) ゆう水のり(ゆり)さん 1944年昭和19年4月9日生まれ(71才) 村山六ヶ村埋土改良区 専務理事

「ツリフネソウ」。水辺などのうす暗い場所に自生しています。夏から秋に花がさきます。きれいな水が流れている吐竜の滝の周りには、きれいな花がたくさん咲いています。

参考 「山紫水明」(発行：山紫園/著者：山紫園)

## 吐竜の滝について

吐竜の滝は、飲料水や農業用水などに使われている。村山六ヶ村埋土改良区・専務理事の浅川さんと大芝さんによると、その由来は「5ひきのりゆうが口から水をはいているように見える」からだそうです。落差10m、はば約5メートルで毎秒(1秒間)0.5トンの水が出ています。その水で水力発電をした電気が市内の約2000世帯の家で使われているそうです。

山々に囲まれた北杜市には、三分一湧水・吐竜の滝・大滝湧水・女取湧水など、ゆう水がたくさんあります。昔は5～10メートルほどの水が出てくるほどで、その水を守るため、山を管理しながら、北杜市を緑いっぱいにしてきたそうです。市内にはサントリーの工場があり、地下水をミネラルウォーターとしてはん売しています。2015年5月、北杜市は豊富な水資源と自然の魅力がある「山紫水明」の街づくりを目指し、「世界に誇れる水の山」宣言をしました。このきれいなゆう水を、これからも守ってきたいです。

## ゆう水の魅力

山々に囲まれた北杜市には、三分一湧水・吐竜の滝・大滝湧水・女取湧水など、ゆう水がたくさんあります。昔は5～10メートルほどの水が出てくるほどで、その水を守るため、山を管理しながら、北杜市を緑いっぱいにしてきたそうです。市内にはサントリーの工場があり、地下水をミネラルウォーターとしてはん売しています。2015年5月、北杜市は豊富な水資源と自然の魅力がある「山紫水明」の街づくりを目指し、「世界に誇れる水の山」宣言をしました。このきれいなゆう水を、これからも守ってきたいです。

## 温泉のひみつ

北杜市は、「フォッサ・マグナ」という地溝帯の上に位置し、水が豊富であるため、温泉が多い地域です。「尾白の湯」は、「白州の森水公園」の中にあります。源泉「赤湯」と「湯」を白州尾白川天然水の名水で10倍にうすめた「白湯」があります。「スパティオ小淵沢」は市民に「食の健康」「心身の養生」の場を提供するため、宿はくとうや農産物直売所、観光案内所などを併設。泉質は「ナトリウム塩化物・炭酸水素塩・硫酸塩泉」で、神経痛・筋肉痛・関節痛などの効能があります。「甲斐大泉温泉パノラマの湯」は、ホテルも併設されている。露天風呂からのながめが素晴らしいです。「むかわの湯」の泉質は「ナトリウム・塩化物泉」で、神経痛・筋肉痛・関節痛などに効能があります。湯船はヒノキで作っているものがあり、天然風呂には屋根がついています。みなさんぜひ、北杜市の気持ちの良い温泉に行ってみてください。

山々に囲まれた北杜市には、三分一湧水・吐竜の滝・大滝湧水・女取湧水など、ゆう水がたくさんあります。昔は5～10メートルほどの水が出てくるほどで、その水を守るため、山を管理しながら、北杜市を緑いっぱいにしてきたそうです。市内にはサントリーの工場があり、地下水をミネラルウォーターとしてはん売しています。2015年5月、北杜市は豊富な水資源と自然の魅力がある「山紫水明」の街づくりを目指し、「世界に誇れる水の山」宣言をしました。このきれいなゆう水を、これからも守ってきたいです。

北杜市にはきれいな山々があります。その多くが、「県民に親しまれている」「全国的な知名度がある」「歴史や民俗との関わりがある」などの基準で選ばれた「山梨百名山」です。瑞牆山は「日本百名山」にも選ばれていて、登山で人気です。「日本百名山」とは、小説家の深田久弥さんが選んだ日本の100個の山をまとめた本です。瑞牆山は標高2230m、古くから信仰の山として登られてきました。「瑞牆」とは、神社の周りを囲う垣根の意味で、それが名前の由来となっています。みなさんぜひ来てくださいね。

## 八ヶ岳の魅力

八ヶ岳の魅力を、天然記念物のヤマネや国ちようのオオムラサキが生息している。豊かな自然が多くあること。八ヶ岳は、山梨県と長野県の人々にとても愛されています。私たちは、方角を留うとき、「八ヶ岳がある方角が北」と教わるほど、身近な山です。これからはじめとした北杜市の自然を大切にしていきたいです。

北杜市にはきれいな山々があります。その多くが、「県民に親しまれている」「全国的な知名度がある」「歴史や民俗との関わりがある」などの基準で選ばれた「山梨百名山」です。瑞牆山は「日本百名山」にも選ばれていて、登山で人気です。「日本百名山」とは、小説家の深田久弥さんが選んだ日本の100個の山をまとめた本です。瑞牆山は標高2230m、古くから信仰の山として登られてきました。「瑞牆」とは、神社の周りを囲う垣根の意味で、それが名前の由来となっています。みなさんぜひ来てくださいね。

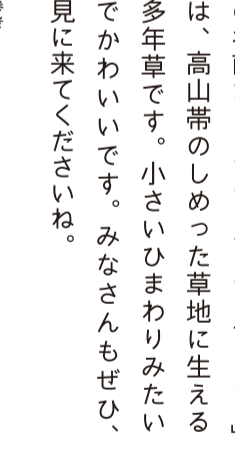


取材協力：北杜市産業観光部観光・商工課

参考 「山梨百名山」(発行：山梨日報新聞社)

## オニクとウサギ

八ヶ岳には「オニク」という食べられそうだけれど食べられない植物と、「ウサギギク」という動物のような植物が生息しています。「オニク」は1年生の寄生植物で、細長い真っ赤な松ぼっくりみたいで、うろこの形をした黄かっ色の葉でぎっしりおおわれ、は虫類のはだのようです。「オニク」という名前は、「御園」という中国の名前からきています。「ウサギギク」は、高山帯のしめった草地に生える多年草です。小さいひまわりみたいでかわいいです。みなさんぜひ、見に来てくださいね。

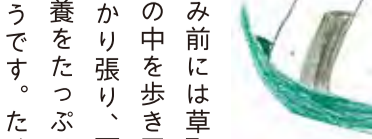


参考 「花図鑑」(発行：ほむす書房/著者：安原修次) 取材協力 北杜市「ほむす書房」(発行：北杜市観光・商工課) 北杜市「ほむす書房」(発行：北杜市観光・商工課)

## 北杜市で1番おいしい 武川米の魅力

武川米のおいしさは、南アルプスの天然水とたい肥(馬・ぶたなどの)を混ぜた土で作られた、あまみどかおり。おすががいらなくらい味がしつかりしています。武川地区は標高400～500メートルで、昼夜の寒暖差が大きいこと、地形や土質など、お米づくりに適しているそうです。米農家・小澤さんの武川米は、あまみ・風味・ねばりがあり、一度食べたらやみつきになると思います。北杜市武川町から武川町にかかると「武川筋」で取かくされるお米は、江戸時代からおいしいとされ、「けん穀田」と呼ばれる昭和天皇がめし上げるお米として、宮内庁に納められていました(当時は「高砂」という種類の米)。

北杜市の田植えは、5月10日～25日の15日間で、私たち、高根西小学校の5年生も田んぼのボランティア指導をしていただいている山本林仁さん(当時)が、お話をうかがいました。



参考 「北杜24時」(北杜市ホームページ)

## 地域にある川

大門川 大門川から流れこんだ水が大門ダムのために、それをじょう水場できれいにした水を私たちは飲んでます。

釜無川 北杜市内で一番長く、長野県富士見市から北杜市をぬけ富士川へつながる川です。

尾白川 名水百選にも選ばれていて、尾が白い馬がその川で尾を洗ったことから尾白川という名がついたそうです。

大武川 昔、よく洪水していた「暴れ川」ですが、川からあふれ出した土によっておいしい米作りができるようになりました。

須玉川 大門ダムから流れ出て、須玉町内を通りぬけた所で塩川と合流します。



参考 「北杜旅図鑑」(発行：北杜市観光・商工課) 「はくと物語」(発行：北杜市観光・商工課)

取材協力 小澤善之助さん(おさのさん) 1944年昭和19年10月16日生まれ(71才) 有限会社武川農業代表



参考 「北杜24時」(北杜市ホームページ)

